保存版

恩納村
防災マップ

令和８年10月

防災マップの使い方と避難

この防災マップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

防災マップの使い方

まず、自宅の位置を確認しましょう。

災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。

自宅に一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



目　次

警戒レベルのお知らせ……1
風水害・台風 ……2
洪水・土砂……3
地震 ……4
津波・高潮……5
防災対策＆チェック……6
非常時持ち出し品の準備＆チェック ……7
恩納村全体図・避難所・避難場所一覧 …… 8～9
伊武部希望ヶ丘・名嘉真 …… 10～11
名嘉真 …… 12～13
名嘉真・安富祖 …… 14～15
喜瀬武原 …… 16～17
喜瀬武原・安富祖・瀬良垣 …… 18～19
瀬良垣・太田・恩納 …… 20～21
太田・恩納・南恩納 …… 22～23
南恩納 …… 24～25
南恩納・谷茶 …… 26～27
谷茶 …… 28～29
谷茶・冨着・前兼久 …… 30～31
冨着・前兼久・仲泊 …… 32～33
仲泊・山田…… 34～35
仲泊・山田・真栄田 …… 36～37
山田・真栄田・塩屋 …… 38～39
塩屋・宇加地 …… 40～41

発行：恩納村　　作成：令和８年10月

「この地図は、恩納村長の承認を得て、同村発行の 1/10,000 地形図を使用し、調製したものである。（承認番号）令和３年恩税第 211 号」
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 167-391 号」
JIS Z 8210　避難所（建物）　広域避難場所

(禁無断複製)©2026 ZENRIN CO., LTD.

警戒レベルのお知らせ

村が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難指示などの避難情報を発信します。
警戒レベル5【緊急安全確保】、警戒レベル4【避難指示】または警戒レベル3【高齢者等避難】が発令された場合は、避難行動をとりましょう。

住民がとるべき行動等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）		
				気象庁等が発表する情報		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動等	村の対応（避難情報）		大雨・洪水	土砂災害
5	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ※ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保（※村が発令）	5相当	大雨特別警報 氾濫発生情報	土砂災害 特別警報
		＜ 警戒レベル4までに必ず避難！ ＞				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ・避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など	避難指示（村が発令）	4相当	大雨危険警報 氾濫危険情報	土砂災害 危険警報
3	災害のおそれあり	高齢者等は危険な場所から避難 ・避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）	高齢者等避難（村が発令）	3相当	大雨警報 氾濫警戒情報	土砂災害警報
2	気象状況悪化	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）	防災体制	2相当	大雨注意報 氾濫注意情報	土砂災害 注意報
1	今後の情報に留意	災害への心構えを高める	情報収集	早期注意情報		

※市区町村長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報の発令判断をすることから、避難情報と警戒レベル相当情報の出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。（気象庁等が発表する情報は令和8年出水期から運用開始）

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ

村公式 LINE・インターネット・気象庁ホームページ



防災無線・広報車

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報
大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合

大雨警報
大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合

大雨特別警報
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表

雨の強さと降り方

（1時間雨量:mm）

10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

（平均風速:m／秒）

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台　風

（平均風速:m／秒）

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さ	最大風速
強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。



- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 村や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 村公式LINEを登録し情報を収集する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域ではいつでも避難できるよう準備をする。

洪水・土砂

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

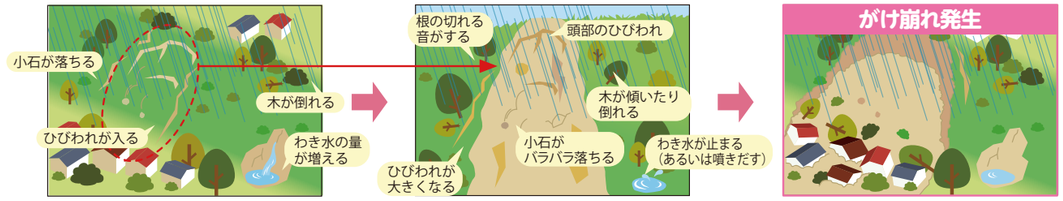


土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

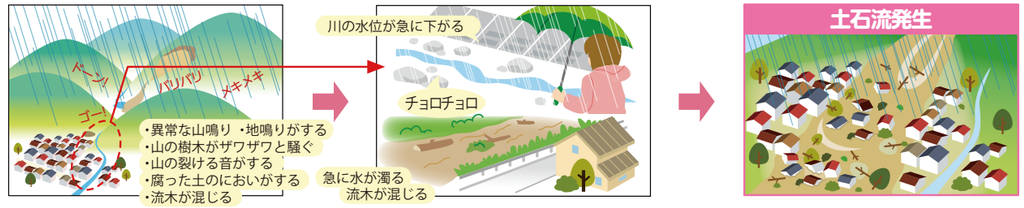
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



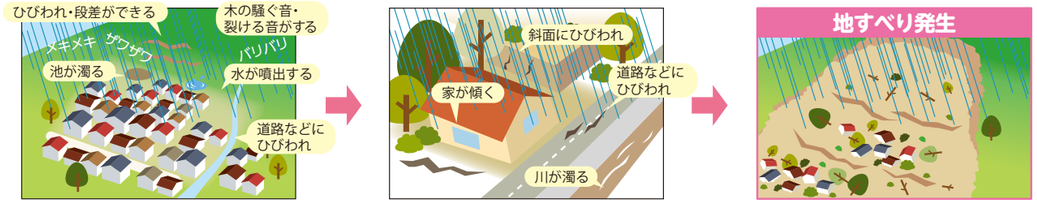
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

地　震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1〜2分

3分

5分

10分

数時間

3日

最初の大きな揺れは約1分間



- まず、身を守る安全確保　手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認　ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

揺れがおさまったら

- 火元を確認　火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認　倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく　家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- 津波などの危険が予想される地域はすぐ避難

みんなの無事を確認　火災の発生を防ぐ



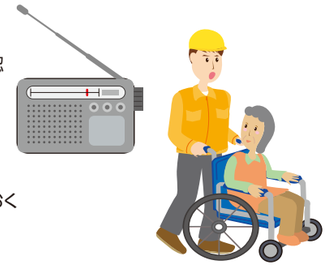
隣近所に声をかけよう

- 要配慮者の安全確保　隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか　◆ ケガ人はいないか

出火防止 初期消火

- 初期消火　消火器を使う　バケツリレー　風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意　◆ 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める　◆ 余震に注意

ラジオなどで正しい情報を得る



- 大声で知らせる　◆ 救出・救護を　◆ 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように　◆ 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう　3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集　◆ 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切　◆ 壊れた家に入らない



家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール



- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近



- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

バスなどの車内



- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

津波・高潮

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分後を目処に津波警報（大津波、津波）または津波注意報を発表します。

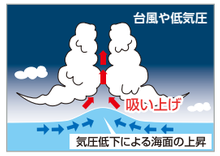
津波警報・注意報の種類

※ 大津波警報は特別警報に位置付けられています。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定されるべき行動と取るべき行動
		数値での発表（津波の高さ予想の区分）	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超（10m <予想高さ）	巨大	陸域に津波が及び浸水するおそれがあるため、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
		10m（5m <予想高さ≦ 10m）		
		5m（3m <予想高さ≦ 5m）		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m 以下の場合。	3m（1m <予想高さ≦ 3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m（0.2m ≦予想高さ≦ 1m）	（表記しない）	陸域では避難の必要はない。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。海水浴や磯釣りは危険なので行わない。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしない。

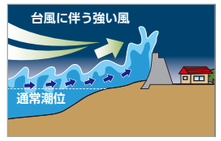
高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、背後地が浸水する可能性が高くなります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されます。そのため、川沿いではん濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。



吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1㎝上昇します。例えば、950hPaの台風が接近すると、1000hPaだった時より50㎝海面が上昇します。



吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。吹き寄せ効果は風速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の奥ほど高くなります。

高潮をもたらす台風の大きさと強さ

台風の「大きさ」は、強風域（風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲）の半径で表し、台風の「強さ」は、最大風速で区分しています。台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

大きさの階級分け

階　級	風速15m/s以上の半径
大　型（大　き　い）	500km 以上 800km 未満
超大型（非常に大きい）	800km 以上

強さの階級分け

階　級	最大風速
強　　い	33m/s 以上 44m/s 未満
非常に強い	44m/s 以上 54m/s 未満
猛　烈　な	54m/s 以上

高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。

なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。

正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。

河川や海岸には近づかない

地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。

避難指示に従う



避難指示が発令されたらただちに指示に従い、安全で高い場所に速やかに避難しましょう。

防災対策 & チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

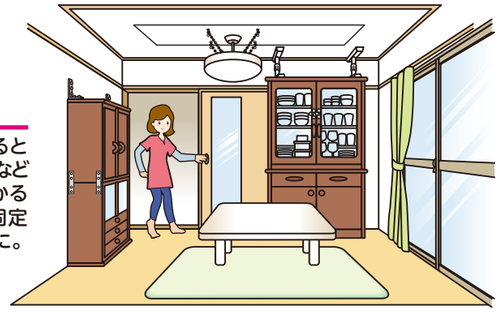
□家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

□寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。





□家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。

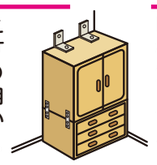
□安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

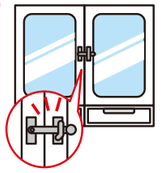
□タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



□食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



□照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



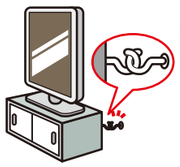
□冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



□テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



□ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

□屋根

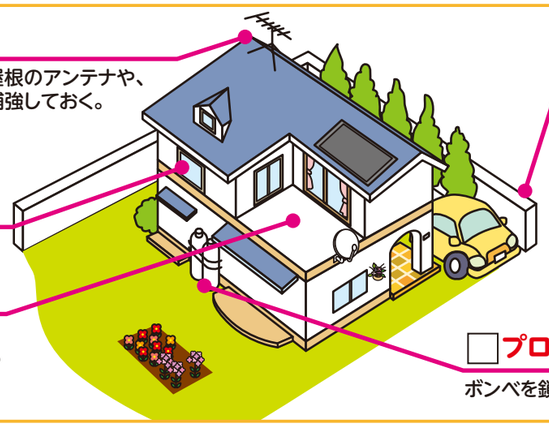
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

□窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

□ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。



□ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

非常時持ち出し品の準備 & チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

非常時持ち出し品(例)

携帯ラジオ



- □ラジオ
- □電池(多めに用意)

救急医療品



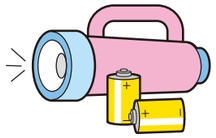
- □常備薬
- □傷薬
- □鎮痛剤
- □包帯

貴重品



- □現金
- □印鑑
- □マイナ保険証
- □預金通帳
- □免許証
- □資格確認書

懐中電灯



- □懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- □電池(多めに用意)

非常食品等



火を通さないで食べられるもの、食器など

- □非常用食品
- □缶切り
- □紙皿
- □缶詰
- □ミネラルウォーター
- □紙コップ



その他

- □衣類(下着・上着など)
- □生理用品
- □離乳食
- □ウェットティッシュ
- □ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- □防災マップ(本書)
- □タオル
- □乳幼児製品
- □カッパ
- □ライター
- □携帯電話の充電器

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- □飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- □貯水した防災タンクなど

非常食品



- □お米(レトルト・アルファ米も便利)
- □缶詰・レトルト食品
- □梅干し・調味料など
- □ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- □卓上コンロ
- □ガスボンベ
- □固形燃料

その他



- □生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- □毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □調理器具(なべ・やかんなど)
- □バケツ・各種アウトドア用品など

定期点検!

非常時持ち出し品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)スコップなど。



大規模災害で役に立ったもの

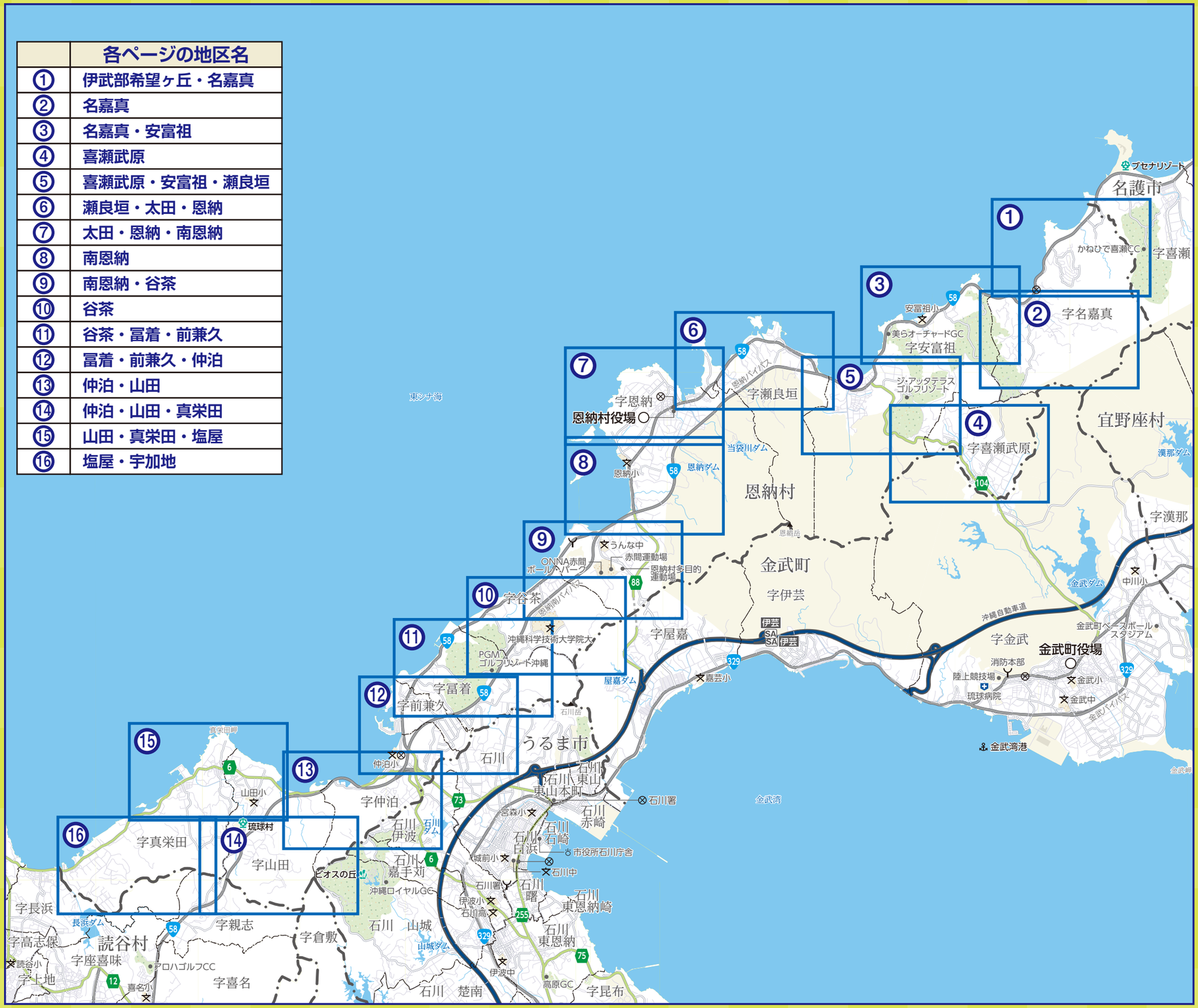
ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

恩納村全体図

N
1:73,000
0　1,000　2,000m

	各ページの地区名
①	伊武部希望ヶ丘・名嘉真
②	名嘉真
③	名嘉真・安富祖
④	喜瀬武原
⑤	喜瀬武原・安富祖・瀬良垣
⑥	瀬良垣・太田・恩納
⑦	太田・恩納・南恩納
⑧	南恩納
⑨	南恩納・谷茶
⑩	谷茶
⑪	谷茶・冨着・前兼久
⑫	冨着・前兼久・仲泊
⑬	仲泊・山田
⑭	仲泊・山田・真栄田
⑮	山田・真栄田・塩屋
⑯	塩屋・宇加地



避難場所・避難所一覧

No.	名　称	住所	指定緊急避難場所	指定避難所	災害種別ごとの避難の適否 地震津波	土砂	高潮
1	伊武部希望ヶ丘自治会館	名嘉真2288-294	○		○	○	○
2	名嘉真公民館	名嘉真1506	○	○	○	○	○
3	前山高台	名嘉真2708-2	○		○	○	○
4	喜瀬武原公民館	喜瀬武原458-1	○	○	○	○	○
5	喜瀬武原土地改良区水利施設監視センター	喜瀬武原360-1	○		○	○	○
6	日本ウェルネス高等学校（旧喜瀬武原小）	喜瀬武原458-16	○	○	○	○	○
7	県民の森	安富祖1770	○	○	○		○
8	安富祖団地	安富祖1670-2	○		○	○	○
9	安富祖小学校	安富祖1868-1	○	○		○	
10	赤瀬原避難場所	安富祖1446	○		○	○	○
11	安富祖公民館	安富祖120	○			○	
12	瀬良垣貯水タンク	瀬良垣242-1	○		○	○	○
13	瀬良垣公民館	瀬良垣299	○				○
14	ハイアット従業員駐車場付近	恩納961-1	○		○	○	○
15	瀬良垣土地改良区記念碑	瀬良垣1428	○		○	○	○
16	太田公民館	瀬良垣2517	○			○	
17	ｻｰﾌｻｲﾄﾞ付近	恩納372-2	○		○	○	○
18	まんざ公園	恩納2878	○		○	○	○
19	恩納公民館	恩納2524	○	○	○	○	○
20	恩納村役場	恩納2451	○	○	○	○	○
21	恩納幼小学校	恩納6069-1	○	○		○	
22	学校給食センター	恩納6251-2	○		○	○	○
23	総合保健福祉センター	恩納6302	○	○	○	○	○
24	南恩納公民館	恩納6325	○		○	○	○
25	うんな中学校	恩納7409-1	○	○	○	○	○
26	赤間総合運動公園	恩納7441	○	○	○	○	○
27	沖縄科学技術大学院大学	谷茶1919-4	○		○	○	○
28	谷茶公民館	谷茶1141-1	○		○		○
29	冨着公民館	冨着879	○	○	○	○	○
30	拝所	冨着671-1	○		○	○	○
31	前兼久公民館	前兼久116-1	○			○	
32	前兼久団地	前兼久299	○		○	○	○
33	仲泊小学校	仲泊433	○	○		○	
34	浜元商店裏高台	仲泊1190-2	○		○	○	○
35	仲泊公園	仲泊1411-88	○		○	○	○
36	山田幼小学校	山田997	○	○	○	○	○
37	山田公民館	山田2698	○			○	○
38	真栄田公民館	真栄田47	○		○	○	○
39	簡易水道タンク	真栄田1772-1	○		○	○	○
40	塩屋公民館	真栄田1631	○			○	
41	真栄田ポンプ場	真栄田2342-6	○		○	○	○
42	宇加地公民館	真栄田3056-1	○			○	
43	宇加地防災倉庫	真栄田3601-19	○		○	○	

① 伊武部希望ヶ丘・名嘉真

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

1:7,000

0 200m

かりゆしビーチ
ハレクラニ沖縄
3m
3m
3m
58
字喜瀬
名護市
沖縄スパリゾート
エグゼス
沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ
恩納村
かねひで喜瀬CC
東シナ海
12m
18m
22m
23m
24m
32m
字名嘉真
29m
28m
36m
44m
38m
38m
51m
46m
53m
伊武部希望ヶ丘自治会館
名嘉真駐在所

② 名嘉真

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫　高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域：0.01m以上0.3m未満／0.3m以上1.0m未満／1.0m以上2.0m未満／2.0m以上5.0m未満／5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N　1:7,000　0　200m

7m　6m　4m　2m　3m　20m　23m　36m　7m　16m　29m　50m

58

海の料亭
おきなわ名嘉真荘

名嘉真公民館
防災倉庫

名嘉真公民館

名嘉真川

前山高台

字安富祖

字名嘉真

字名嘉真

県民の森キャンプ場

恩納村

宜野座村

金武町

③ 名嘉真・安富祖

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

1:7,000

0 200m

東シナ海
ミッションビーチ
10m
7m
6m
4m
58
海の料亭
おきなわ名嘉真荘
安富祖(北)
5m
安富祖幼稚園
安富祖小学校
4m
県民の森
ホテルみゆきビーチ
9m
みゆきビーチ
4m
4m
県民の森
防災倉庫
36m
字名嘉真
字安富祖
美らオーチャードGC
6m
安富祖保育所
字安富祖
19m
安富祖団地
東シナ海
38m
8m

4 喜瀬武原

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫　高潮浸水想定区域　津波災害警戒区域：0.01m以上0.3m未満／0.3m以上1.0m未満／1.0m以上2.0m未満／2.0m以上5.0m未満／5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域：急傾斜地　土石流　特別警戒区域　特別警戒区域　警戒区域　警戒区域

N　1:7,000　0　200m

字喜瀬武原
48m
字安富祖
恩納村
億首川
47m
104
金武町
字喜瀬武原
恩納村
金武町
億首川
字金武
日本ウェルネス高等学校（旧喜瀬武原小）
喜瀬武原公民館
防災倉庫
喜瀬武原公民館
52m
喜瀬武原土地改良区水利施設監視センター
104
40m
38m
字金武

5 喜瀬武原・安富祖・瀬良垣

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

0 1:7,000 200m

オリエンタルヒルズ沖縄
7m
5m
みゆきハマバルリゾート
4m
8m
1m
2m
安富祖
3m
赤瀬原避難場所
60m
字瀬良垣
字安富祖
58
104
ジ・アッタテラスゴルフリゾート
安富祖公民館
字喜瀬武原
48m
恩納村
47m
金武町

6 瀬良垣・太田・恩納

凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 村役場
- 消防署
- 警察署
- 学校
- 郵便局
- ビーチ
- 国道
- 県道・主要道
- 市町村界
- 大字界

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域
- 急傾斜地
- 土石流
- 特別警戒区域
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域

N

1:7,000

0 200m

ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄

瀬良垣漁港

東シナ海

ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート

ハイアット従業員駐車場付近

御菓子御殿 恩納村店

万座ビーチ

瀬良垣公民館

オリエンタルヒルズ沖縄

字瀬良垣

瀬良垣貯水タンク

太田公民館

恩納村海浜公園ナビービーチ

瀬良垣土地改良区記念碑

恩納バイパス

ぷちたいむ

恩納村コミュニティセンター

万座毛

恩納郵便局

字恩納

サーフサイド付近

字安富祖

8m 5m 2m 6m 5m 2m 4m 4m 5m 7m 18m 7m 5m 2m 7m 3m 2m 2m 2m 15m

7 太田・恩納・南恩納

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

0 1:7,000 200m

東シナ海

万座毛

まんざ公園

18m 23m 13m 21m

恩納公民館

12m 7m 10m 3m 9m 14m 10m 11m 2m 5m 2m 9m 5m 8m

字恩納

恩納村ふれあい体験学習センター

万座ビーチ

字瀬良垣

太田公民館

恩納村海浜公園ナビービーチ

7m

ぷちたいむ

恩納村コミュニティセンター

2m 2m 2m

万座毛

恩納郵便局

サーフサイド付近

15m

恩納共同組合（売店）

恩納村役場

恩納村教育支援センター

58

8 南恩納

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫　高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域：0.01m以上0.3m未満 / 0.3m以上1.0m未満 / 1.0m以上2.0m未満 / 2.0m以上5.0m未満 / 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域：急傾斜地 / 土石流 / 特別警戒区域 / 特別警戒区域 / 警戒区域 / 警戒区域

N　1:7,000　0　200m

恩納幼小学校
あかんちゃ学校
南恩納公民館
総合保健福祉センター
恩納クリニック
稲穂
給食センター
防災倉庫
学校給食センター
総合保健福祉センター
防災倉庫
恩納ダム
字恩納
恩納(南)
58
88
8m
2m
1m
4m
2m
19m
9m
1m

9 南恩納・谷茶

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫　高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域：0.01m以上0.3m未満／0.3m以上1.0m未満／1.0m以上2.0m未満／2.0m以上5.0m未満／5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域：急傾斜地／土石流／特別警戒区域／特別警戒区域／警戒区域／警戒区域

N　1:7,000　0　200m

恩納(南)
金武地区消防衛生組合恩納分遣所
航空自衛隊恩納分屯基地
うんな中学校
赤間総合運動公園
赤間防災倉庫
赤間運動場
恩納村多目的運動場
ONNA赤間ボール・パーク
字恩納
恩納(東)
恩納村
金武町
字屋嘉
恩納村斎場
屋嘉トンネル
谷茶公民館
字谷茶
沖縄科学技術大学院大学
1m
25m
16m
37m
3m
4m
2m
10m

10 谷茶

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

0 1:7,000 200m

谷茶公民館

沖縄科学技術大学院大学

リザンシーパークホテル
谷茶ベイ

PGMゴルフリゾート沖縄

谷茶の丘

字谷茶

字冨着

字屋嘉

恩納村

金武町

58

国道58号バイパス

4m 2m 3m 10m 12m

11 谷茶・冨着・前兼久

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫 / 高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N
1:7,000
0 200m

リザンシーパークホテル
谷茶ベイ
シェラトン沖縄サンマリーナリゾート
恩納南バイパス
字谷茶
58
谷茶の丘
字冨着
PGMゴルフリゾート沖縄
カフーリゾートフチャク
コンド・ホテル
ホテルムーンビーチ
ムーンビーチパレスホテル
冨着公民館
冨着公民館
防災倉庫
10m
5m
8m
10m
28m
35m
ホテルモントレ沖縄
スパ&リゾート
8m
40m
3m
かねひで恩納
マリンビューパレス
前兼久団地
防災倉庫
拝所
字前兼久
15m
26m
34m
42m
前兼久団地
字冨着
恩納村
恩納南バイパス
恩納村
うるま市

12 冨着・前兼久・仲泊

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫　高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N　1:7,000　0　200m

ホテルムーンビーチ
ムーンビーチパレスホテル
ムーンビーチ
前兼久公民館
前兼久漁港
東シナ海
恩納マリンビューパレス
ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート
拝所
字冨着
字前兼久
前兼久団地
前兼久団地防災倉庫
恩納南バイパス
恩納村
字仲泊
HIYORIオーシャンリゾート
仲泊
恩納村オリーブ保育園
仲泊小学校
仲泊幼稚園
仲泊公民館
仲泊郵便局
浜元商店裏高台
うるま市
石川
58
10m　5m　8m　10m　35m　28m　8m　40m　3m　15m　26m　42m　34m　53m　14m　27m　27m　45m　3m　3m　3m

13 仲泊・山田

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道	
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道	
	警察署	ビーチ	市町村界	
			大字界	

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

1:7,000

0 200m

東シナ海

恩納村オリーブ保育園

仲泊小学校

仲泊幼稚園

仲泊公民館

仲泊

仲泊郵便局

浜元商店裏高台

恩納村

おんなの駅「なかゆくい市場」

恩納村文化情報センター

恩納村博物館

ルネッサンスリゾートオキナワ

仲泊(南)

ホテルサンセットヒル

仲泊遺跡

山田

仲泊ニュータウン防災倉庫

仲泊公園

字仲泊

字山田

字仲泊

石川 伊波

石川ダム

3m 3m 3m 3m 3m 3m 4m 6m 14m 27m 27m 24m 35m 45m 50m 40m 46m 48m 49m 58m 61m

6 58 73 73 6 6

14 仲泊・山田・真栄田

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

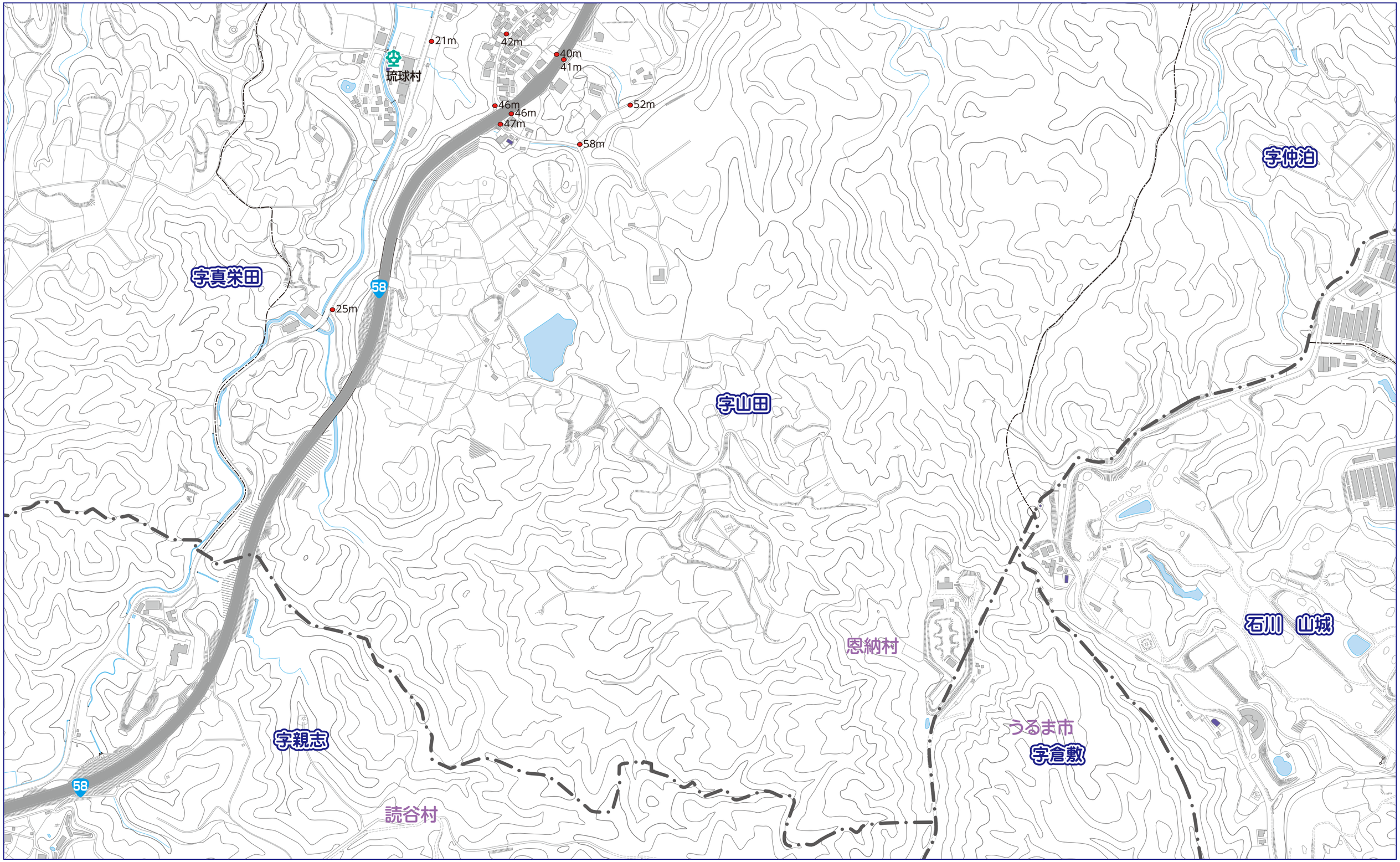
土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

1:7,000

0 200m



15 山田・真栄田・塩屋

凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 村役場
- 消防署
- 警察署
- 学校
- 郵便局
- ビーチ
- 国道
- 県道・主要道
- 市町村界
- 大字界

防災倉庫

高潮浸水想定区域

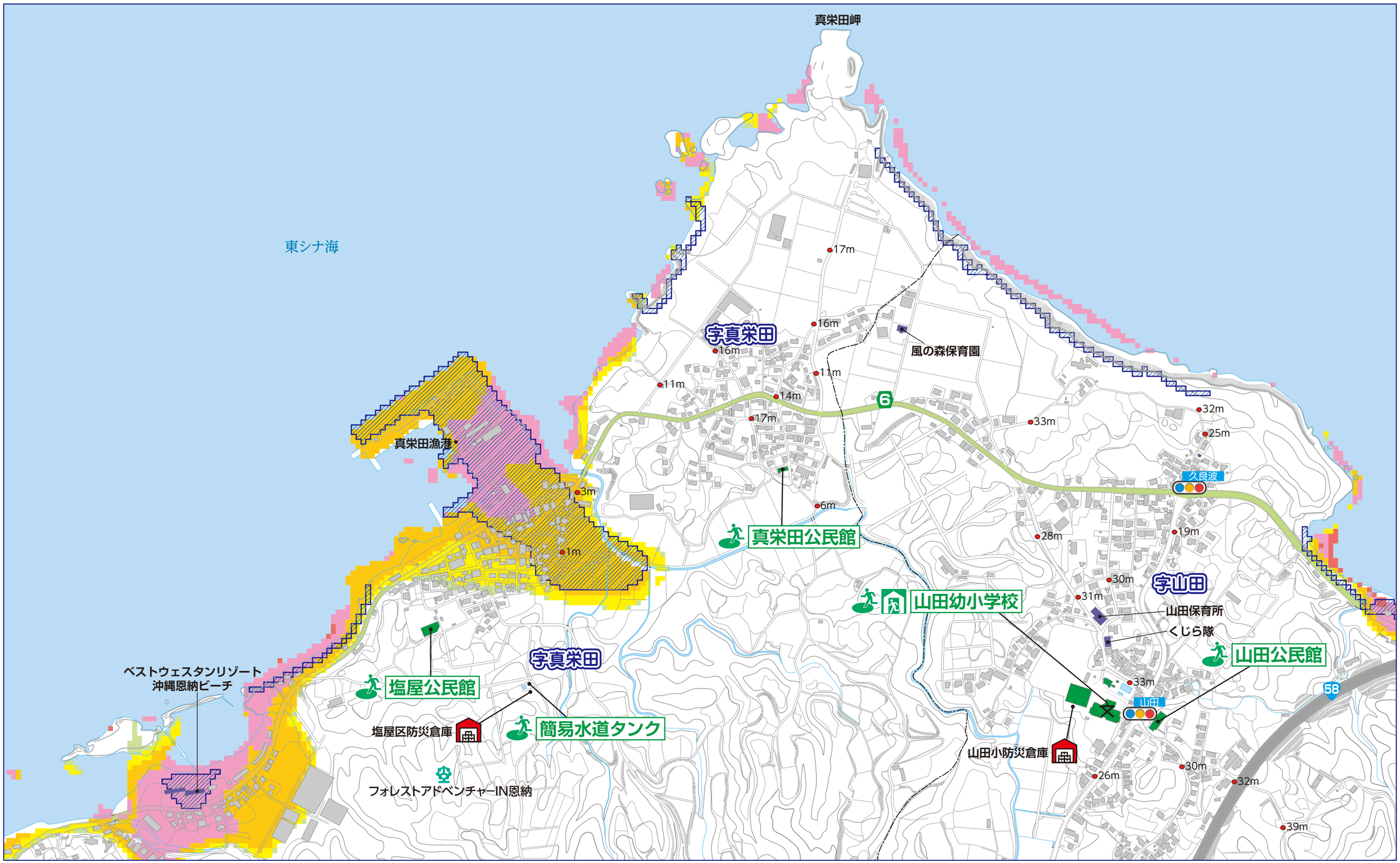
津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域
- 急傾斜地
- 土石流
- 特別警戒区域
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 警戒区域

N

1:7,000

0 200m



16 塩屋・宇加地

凡例

指定緊急避難場所	村役場	学校	国道		
指定避難所	消防署	郵便局	県道・主要道		
	警察署	ビーチ	市町村界		
			大字界		

防災倉庫

高潮浸水想定区域

津波災害警戒区域
- 0.01m以上0.3m未満
- 0.3m以上1.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 2.0m以上5.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満

土砂災害危険区域

急傾斜地	土石流
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域

N

0 1:7,000 200m

東シナ海

3m

6

真栄田ポンプ場

子どもの森保育園

字真栄田

宇加地公民館

宇加地防災倉庫

恩納村

読谷村

字長浜

字長浜

字座喜味

字親志

58

親志

長浜ダム

防災メモ

家族の連絡先

氏　名	生年月日	血液型	電話(会社・学校)	住　所	メ　モ

親戚・知人の連絡先

氏　名	電　話	住　所	メモ(家族との関係など)

避　難　所

避　難　所	
家族の集合場所	

災害時の連絡方法を覚えておきましょう　電話が混み合う災害時に、家族や支援者との安否確認に役立つのが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」です。震度6以上の地震などの大規模災害時に稼動します。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方　※音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

- **伝言の録音方法**　171 ▶ 1 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を吹き込む
- **伝言の再生方法**　171 ▶ 2 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を聞く

「災害用伝言ダイヤル171」サービスを体験できます。(毎月1日(ついたち)、他)
◎詳しくはNTT及び携帯電話会社にお問い合わせ下さい。
◎実際に災害が発生した際には体験サービスの利用ができない場合があります。

緊　急　時　の　連　絡　先

消防・救急は119番

警察は110番

名　称	電話番号
恩納村役場 総務課	098-966-1200
石川警察署	098-964-4110
金武地区消防衛生組合恩納分遣所	098-966-8118